



2021年11月19日  
JR東日本八王子支社  
株式会社さとゆめ

## JR 青梅線（東京アドベンチャーライン）から「沿線まるごとホテル」を本格事業化へ JR 東日本とさとゆめが共同出資会社「沿線まるごと株式会社」を設立

～“ヒト”起点で高付加価値型の地域事業を展開～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）は、グループ経営ビジョン「変革 2027」に掲げる「地方を豊かに」を実現するために、地方創生に取り組んでいます。
- 全国各地で地域活性化やビジネス創出を支援する株式会社さとゆめ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：嶋田俊平、以下「さとゆめ」）は、JR 青梅線「東京アドベンチャーライン」沿線の無人駅や、沿線に点在する空き家をホテル客室に改修し、沿線全体をホテルに見立てる沿線活性化事業「沿線まるごとホテル」を JR 東日本八王子支社と共に取り組んできました。
- 本格事業展開するにあたり、地域に根差した事業運営に蓄積のある JR 東日本と、地域資源の高付加価値化に取り組んできたさとゆめ両社のノウハウを活用した共同出資会社「沿線まるごと株式会社」を設立します。



### 1. 会社設立の背景と経緯

JR 東日本グループでは、お客さまの多様なニーズに合わせたサービスを提供し、駅や駅周辺の魅力と価値の向上に取り組んでいます。一方で、地方都市や農山漁村では過疎化が顕著となっており、JR 東日本グループとしても沿線の生産年齢人口減やコロナ禍による地域への送客量減の課題に直面しています。

こうした中で、JR 東日本は、JR 東日本グループの CVC である JR 東日本スタートアップ株式会社が展開する「JR 東日本スタートアッププログラム 2020」の一環として、さとゆめとともに、JR 青梅線にて、沿線自治体（青梅市、奥多摩町、小菅村、丹波山村）や地域住民・事業者を巻き込んで、沿線に点在する空き家をホテル客室に改修し、沿線全体をホテルに見立てる沿線活性化事業「沿線まるごとホテル」のサービス開発に取り組み、2021年2月～4月に実証実験を行いました。そして、実証実験が良好な成績・評価を得たことから、「沿線まるごとホテル」の事業化を始めとする、沿線活性化における様々な協業を積極的に推進するために、共同出資会社「沿線まるごと株式会社」の設立に至りました。



### **(1)JR 青梅線無人駅の観光拠点化 地域と観光客のコミュニティスペースとして活用**

JR 青梅線沿線「沿線まるごとホテル」の事業立ち上げ・運営を継続していくうえで、JR 青梅線無人駅の「鳩ノ巣駅」を観光拠点として改修・整備し、古民家ホテル利用があるお客様向けのチェックインスペースや、JR 青梅線沿線の集落ホッピング起点・情報発信・交流拠点としても活用していきます。

鳩ノ巣駅が位置する「棚沢集落」には、地元食材を使った料理が楽しめる飲食店が複数あり、多摩川の川辺に下りられる「鳩ノ巣溪谷」を有することから、棚沢集落の体験・アクティビティ拠点としての機能も付加していく予定です。

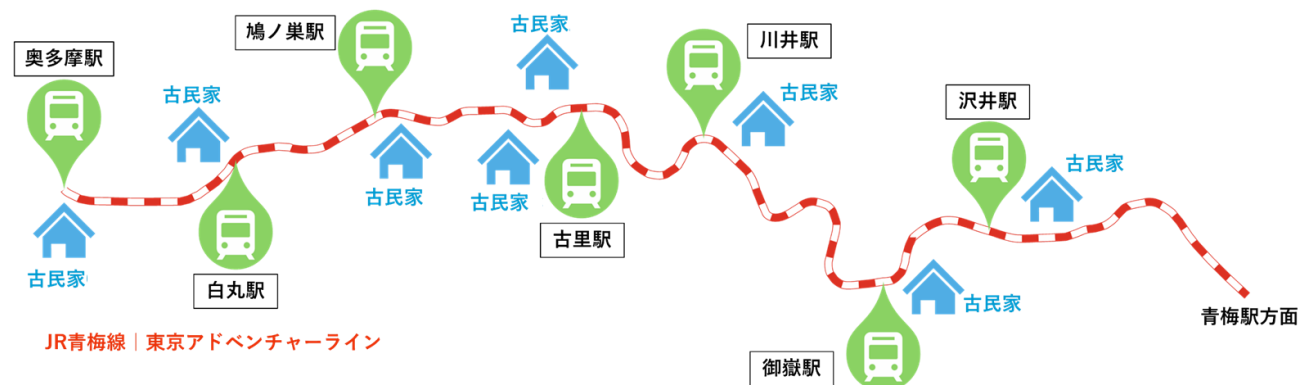


鳩ノ巣駅 外観

### **(2)「沿線まるごとホテル」ツアーの販売を順次実施、2026 年までに JR 青梅線古民家ホテルを順次開業予定**

「沿線まるごとホテル」の宿泊プランを試験的に販売する実験ツアーを、前回（2021 年 2 月～4 月）とは異なる時期と集落で実施する予定です。「集落ホッピング」、「青梅線駅チェックイン」などのメニューの開発実施、また 3 コース程度の「沿線ガストロミー」コースメニューの開発実施などを考えています。そのほか、多摩エリアの食を支える生産者の「想い」から楽しんでもらう「多摩ガストロミー」ツアーも実施。生産現場の見学や多摩の食材を使ったディナーなどを楽しむハイグレードな内容を予定しています。※ 1

また、古民家ホテル事業については、JR 青梅線沿線にて 2022 年度内に古民家（空き家）を改修し、2023 年に古民家ホテルとして宿泊事業サービスを開始する想定です。その後、JR 青梅線沿線で順次改修・開業していき、2026 年には全 5～8 棟で宿泊事業を稼働する予定です。



### **(3)JR 青梅線（東京アドベンチャーライン）から地域課題解決・地方創生・SDG s に向けた取り組みと事業実施**

青梅線を集落単位で捉え、その地域ならではの地産品・体験をサービスとしてお客さまに提供できるようにします。鳩ノ巣駅周辺の棚沢集落や鳩ノ巣溪谷の散策、古里駅付近のわさび田巡りや地元の生産者との対話など、その土地ならではの衣食住の暮らしと歴史文化を感じるサービスを提供していきます。また地域の皆さまと共に課題解決や持続可能な事業へ取り組んでいきます。※ 2

### **(4)「沿線まるごとホテル」等の地域事業を全国へ展開 2040 年までに「30 地域で事業創出」を目指す**

将来的には「沿線まるごとホテル」等のヒト起点の地域事業モデルを JR 青梅線以外の地域でも検討し、2040 年までに JR 東日本管轄エリア内で 30 地域以上での地域特性に応じた地域事業創出を目指していきます。全国にあるローカル沿線の活性化に向けて、地域で活躍する人材の育成にも力を入れていきます。

※ 1 ※ 2 地域体験・宿泊プランは準備出来次第、沿線まるごと(株)・JR 東日本・さとゆめから発表します。

## 5. 「沿線まるごと株式会社」の会社概要

所在地：東京都西多摩郡奥多摩町棚沢（予定）  
資本金等：7,500 万円（資本金 3,750 万円、資本準備金 3,750 万円）  
株主構成：さとゆめ 53.3%、JR 東日本 46.7%  
設立時期：2021 年 12 月上旬（予定）  
事業内容：・古民家宿泊事業（空き家改修から宿泊事業運営）  
・地域観光事業（地域ガイド運営・地域体験運営）  
・小売り・e コマース事業（地産品販売）  
・その他サービス事業（伴走型地域課題解決コンサルティング）など



沿線まるごと(株) 会社ロゴ

新会社ロゴへの想い：

線路を想起させる円形のアイコンに、地域の物語を読みとくような明朝の書体をのせ、電車に心地よく揺られるような流動的イメージを加えた、シンプルなデザインです。円形アイコンには、沿線の地域の様々な要素が鎖のように連なり合って調和するという願いが込められています。（制作：tamdá 代表 巽 奈緒子）

### ●「JR 東日本」の会社概要

JR 東日本は、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げる「くらしづくり」の実現に向けて、“沿線の個性を引き出す”「沿線くらしづくり構想」を推進します。地域の皆さまと歩む沿線を目指し、「鉄道起点」から「ヒト起点」にビジネスストーリーを転換し、新たな成長戦略を推進します。お客さまが求める新しい形での“旅”や“暮らし”を積極的に提案することで、グループ一体となって需要を創造し、経済活性・地方創生に繋がっていきます。

所在地：東京都渋谷区代々木二丁目 2 番 2 号  
代表者：代表取締役社長 深澤祐二  
設立：1987 年 4 月 1 日  
事業：旅客鉄道事業、旅行業、流通・サービス事業、不動産・ホテル事業など  
URL：<https://www.jreast.co.jp/>

### ●「株式会社さとゆめ」の会社概要

さとゆめは、地方創生に特化した、伴走型の事業プロデュース会社です。全国 40 エリアで、計画策定から事業の立上げ・運営まで、地域に伴走しています。「沿線まるごとホテル」は、さとゆめが 2014 年から 8 年間伴走している山梨県小菅村でプロデュースした“村まるごとホテル”の「NIPPONIA 小菅 源流の村」（さとゆめの出資会社である株式会社 EDGE が運営）、地域と企業の協働による保養地づくり「癒しの森事業」（長野県信濃町）、町単独のアンテナショップ&地域商社事業「かほくらし」（山形県河北町）等、人を起点に様々な事業創出に取り組んでいます。

所在地：東京都千代田区九段南 4-7-16 市ヶ谷 KT ビルⅡ 9 階  
代表者：代表取締役社長 嶋田俊平  
設立：2012 年 4 月 17 日  
事業：地方創生に特化した事業プロデュース、伴走型コンサルティングなど  
URL：<https://satoyume.com/>